

教科及び教科の指導法に関する科目

※本学卒業生(通学課程を含む)を受講対象として開講しています。

音楽：中学校、高等学校

教育職員免許法施行規則 に定める科目	科 目 コード	本学での開講科目	授業 形態	単 位			備 考 ()は東京受講の費用
				通信	面接	計	
ソルフェージュ	1909	ソルフェージュ(注5) ※	演習	2		2	
声楽 (合唱及び日本の 伝統的な歌唱を含む。)	1950	声楽1(注1)	実技		2	2	日本の伝統的な歌唱を含む。6日24,000円(40,000円)
	1951	声楽2(注1)	実技		2	2	日本の伝統的な歌唱を含む。6日24,000円(40,000円)
	1924	合唱	演習		2	2	6日24,000円
器楽 (合奏及び伴奏 並びに和楽器を含む。)	1952	ピアノ1(注1)	実技		2	2	6日24,000円(40,000円)
	1953	ピアノ2(注1)	実技		2	2	6日24,000円(40,000円)
	1927	器楽合奏法(注4)	演習	1	1	2	和楽器を含む。3日12,000円(15,000円)
	1928	伴奏法(注4)	演習	2		2	
指揮法	1929	指揮法(注4)	演習	2		2	
音楽理論・作曲法 (編曲法を含む。) ・音楽史 (日本の伝統音楽及び 諸民族の音楽を含む。)	1904	西洋音楽の歴史と理論	講義	1	1	2	2日8,000円(10,000円)
	1905	日本音楽の歴史と理論	講義	1	1	2	日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む2日8,000円(10,000円)
	1913	コンピュータと音楽(注2)[web教材科目]	講義	4		4	
	1914	ポピュラー音楽論(注2)[web教材科目]	講義	2		2	
	1902	人間と音楽(注5)	講義	4		4	
	1907	和声法1(注3)[web教材科目]	演習	2	2	4	6日24,000円(30,000円)
	1915	和声法2(注3)[web教材科目] ※	演習	2	2	4	6日24,000円(30,000円)
	1910	楽典(注5)	演習	2		2	
	1930	作曲法	演習	4		4	編曲法を含む。
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む)	5018	音楽科指導法Ⅰ ※	講義	2	2	4	3日16,000円(20,000円)
	5019	音楽科指導法Ⅱ(注6) △	講義	2		2	中学免許のみ必須。
	5020	音楽科指導法Ⅲ(注6) △	講義	2		2	中学免許のみ必須。

注1)取得順位「声楽1」→「声楽2」、「ピアノ1」→「ピアノ2」同時履修不可。声楽・ピアノの学外(東京)スクーリング授業料は1単位につきそれぞれ20,000円です。

注2)「コンピュータと音楽」、「ポピュラー音楽論」はWord等[ドキュメントファイル形式(拡張子.doc)で書き出し可能なワープロソフト]が必要になります。

注3)「和声法1」、「和声法2」はプリンターが必要となります。「和声法1」と「和声法2」は同時履修不可。

注4)メディアに録音して提出する課題があります。(録音機器は、各自でご用意ください。)

注5)「ソルフェージュ」、「人間と音楽」、「楽典」の受講には、パソコンとインターネット接続環境が必要となります。([楽典]はプリンターも必要。)

注6)「指導法Ⅲ」のみの履修は不可。但し、本学にて既に「指導法Ⅰ・Ⅱ」の6単位を取得済みの場合を除く。また、「指導法Ⅱ」と「指導法Ⅲ」のみの履修も不可。

※太字は「一般的包括的内容」を含むために必要な科目。

※Web教材科目には、パソコンとインターネット接続環境が必要となります。